

平成28年度 第1回羽生市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成28年5月25日(水) 午後3時30分から午後4時40分まで

2 場 所 羽生市役所 2階市長公室

3 出席者

(構成員)	羽生市長	河田 晃明
	羽生市教育委員会	
	教育長	秋本 文子
	教育長職務代理者	岩本 一盛
	委員	古市 明
	委員	春山 教子
	委員	柿沼 拓弥

(事務局関係)	企画財務部長	飯塚 丈記
	教育委員会学校教育部長	佐藤 敏之
	教育委員会生涯学習部長	赤坂 暁美
	企画財務部企画課長	秋山 尚幸
	教育委員会学校教育部	
	教育総務課長	橋本 直樹

(傍聴者) 0名

4 協議事項 1) 平成28年度の教育の方針・施策・重点事業について
2) その他

5 会議内容

(開 会)

○企画財務部長(司会)

これより、平成28年度第1回羽生市総合教育会議を開催します。

本日の進行をさせていただきます企画財務部長の飯塚です。

どうぞよろしく申し上げます。

(あいさつ)

○企画財務部長（司会）

それでは、はじめに河田市長よりあいさつ申し上げます。

○市長

平成27年4月1日に施行されました、改正「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて、本日、平成28年度の第1回羽生市総合教育会議を開催したところ、教育委員会委員の皆様には、ご出席いただきましてありがとうございます。

また、平素から教育行政の推進に、ご尽力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

さて、ご承知のとおり、この総合教育会議においては、

1. 教育に関する施策の大綱に関すること
2. 教育を行うための諸条件の整備や、羽生市の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
3. 児童、生徒等の生命又は身体に被害が生じ、又は生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急措置などについて、協議、調整を行ってまいります。

そして、昨年、5月に開催されました、会議におきましてご審議いただき、「羽生市の教育に関する施策の大綱」を策定いたしました。

本年度も羽生市の教育にあたりましては、今までにも委員の皆様と、いろいろなコミュニケーションをとってまいりましたが、新教育委員会制度に基づく新たな体制の基、法が求める総合教育会議とするためにも今まで以上にコミュニケーションを深め、羽生市の教育を充実していきたいと思っております。

本日はよろしく願い申し上げます。

(協議事項)

○企画財務部長（司会）

続きまして、協議事項に移らせていただきます。議長は、羽生市総合教育会議設置要綱第3条第1項により、市長を議長として進めさせていただきます。

市長、よろしくお願ひします。

○市長（議長）

それでは、本会議を主催する立場から議長を務めさせていただきます。

はじめに、1)平成28年度の教育の方針・施策・重点事業について所管部長より、説明をお願いします。

○学校教育部長

資料1 1ページをお開きください。

平成28年度 羽生市教育委員会グランドデザインについて説明します。

教育委員会では、教育は市民サービスの最先端を基本理念として、生涯学習部と学校教育部が融合して羽生の教育を推進いたします。

本市の教育を進めていく中で教育は市民サービスの最先端といった考えの基、基本理念として、5S（ファイブエス）を掲げております。Sagacity（賢明な判断）、Swift（迅速）、Sincerity（誠実）、Service（奉仕）、Smile（微笑み）の頭文字でございます。

次に、学校教育部の基本目標について申し上げます。

まずは、「信頼される学校づくりの推進」でございます。特色ある教育を推進し、教員の指導力の向上、学校・家庭・地域相互の連携を強化すると共に、教育環境の整備を推進し信頼される学校づくりを進めます。また、生涯学習部と学校教育部に跨る基本目標といたしまして、「人権を尊重する教育の推進」でございます。ポイントといたしまして、お互いを思いやる豊かな人権感覚を身につけるということでもあります。そして、生涯学習部ですが1つ目は、「生涯学習の推進と文化活動の活性化」でございます。ポイントとして、自主的な生涯学習活動が活発になるよう支援する。また、文化的・歴史的資産を未来に継承するための啓発活動を進めていく。更に、基本目標の2つ目が、「生涯スポーツの振興」でございます。誰もが健康で生涯に渡ってスポーツに親しむ環境づくりを推進していく。なお、このグランドデザインは「活気に満ちた 人輝く文化都市 羽生」の実現、羽生市総合振興計画「ひと輝くまちづくりプラン」に基づくものでございます。

それでは、2ページ 学校教育部のグランドデザインでございます。

主なものについてご説明します。信頼される学校づくりのために次の施策を推進してまいります。

「1 生きる力をはぐくむ学校教育の推進」について申し上げます。

- ・フューチャースクール事業として、「小学校ICT整備事業」の推進によるタブレットPC活用と研究をいたします。
- ・プレゼンテーション能力の育成活動事業を推進します。
- ・英語教育の推進として、引き続き「岩瀬グローバルスクール事業」、「村君英語村推進事業」、「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を実施します。
- ・道徳教育の充実として、井泉小学校での「特別の教科 道徳」の先行実施、羽生市道徳郷土教材集「みち」の活用を進めます。

「2 教師力・学校力の向上」について申し上げます。

- ・人事評価制度の結果が給与等に反映されますことから管理職を一層充実させ適正な評価や学校力の向上に繋げてまいります。また、臨床心理士巡回相談による指導・支援により、発達障がい児童等の適切な対応に努めてまいります。

- 「3 学校・家庭・地域の三者協働による学校づくり」については、
- ・川俣小学校のコミュニティースクールの充実を図ります。
 - ・三者連携による教育活動の充実といたしまして、「学力アップ羽生塾」を開設いたしました。毎週土曜日計42回開催予定、小学校4年生から6年生に国語と算数の基礎を繰り返し教え学力の向上に努めます。
- 「4 学校給食の充実と食育の推進」については、
- ・学校給食センターの設備の入れ替えを行います。
- 「5 教育環境の整備・充実」については、
- ・新郷第一小学校の大規模改修工事を行います。
- 「6 安心・安全な学校づくり」については、
- ・全小中学校に防犯カメラを設置します。

以上、説明を終わります。

○生涯学習部長

資料1 3ページをお開きください。

生涯学習部では、「人権を尊重する教育の推進」、「生涯学習の推進と文化活動の活性化」、「生涯スポーツの振興」と3つの柱で構成しております。

1つ目の柱 「人権を尊重する教育の推進」について申し上げます。

- ・一人ひとりが人権尊重の理念を正しく理解し、お互いを思いやる豊かな人権感覚を身につけ、人権問題を理解しようとする積極的な態度を育てる人権教育を推進します。生涯学習部では、社会教育における人権教育の推進を担当しておりまして、特に人権教育の指導者の育成に力を入れております。公民館の利用団体や自治会の方に研修会を行っております。

2つ目の柱 「生涯学習の推進と文化活動の活性化」について申し上げます。

初めに、「市民の学習機会の充実」については、

- ・おやこらぼ（親子自由研究）の開催を行います。
- ・家庭教育支援の充実（NPOとの協働）は、幼児教育や家庭教育の充実を図るために親の学習講座等でお世話になっているアドバイザーの方がメンバーとなっているNPO法人団体に協力をいただきまして研修会・事業等を進めてまいります。
- ・岩瀬グローバルタウン構想推進事業（アドバイザーの活用）は、平成26年10月に岩瀬小学校が文部科学省の特例校に指定されたことを受けまして学校だけではなく岩瀬地区全体でグローバル化を推進するためにこの事業を進めております。学校と地域、そしてまちづくりが一体となって進めている取り組みでございます。今年は、まちづくり、人づくりの専門家をアドバ

イザーとし迎えて意見交換会を実施し、さらなる推進を図ってまいります。
次に、「図書館・郷土資料館の充実」については、

- ・夏休みに県立自然博物館との共催で企画展示「埼玉の自然をのぞいてみよう」を開催いたします。

次に、「文化財の保護・活用と芸術文化の振興」については、

- ・永明寺古墳が平成27年3月に県指定の史跡として指定されました。これを受けまして、今年度は永明寺古墳発掘調査報告書を刊行いたします。
- ・ムジナモ自生地の宝蔵寺沼が国指定50周年に当たることを記念いたしまして特別展を開催する予定でございます。

3つ目の柱 「生涯スポーツの振興」について申し上げます。

初めに、「スポーツに親しめる環境づくり」については、

- ・市体育館メインアリーナ暗幕カーテン取り換え工事を実施いたします。

次に、「スポーツレクリエーション機会の提供」については、

- ・スポーツ行事の充実といたしまして、第30回記念羽生市民体育祭を開催いたします。

最後に、「優秀なスポーツ選手の育成」については

- ・トップアスリートの育成といたしまして、例年行われておりますプロ野球OBの少年野球教室に加えて、バスケットボール教室を明治大学バスケットボール部と埼玉ブロンコスを講師に迎えて2回開催する予定であります。

以上、説明を終わります。

○市長（議長）

それでは、これより意見交換会に入りたいと存じます。本日説明のあったことを中心に意見交換をお願いしたいと思っております。

どうぞよろしく申し上げます。

○春山委員

学力向上について、昨年度の学力テストの結果でも羽生市は県内でも学力が低い結果となっており、学力アップが緊急の課題となっていると考えます。また、貧困家庭の学力低下も問題となっている中で市として何か経済的な施策が必要なのではないかと考えます。また、市の予算も限られておりますので予算をかけずに出来る施策を考える必要もあると思います。羽生市総合振興計画にある「人輝くまちづくり」、一人ひとりが輝く基を作ることが教育であると思います。最近、「学力の経済学」という本が出ておりまして、今までは、教育と経済は関係ないとされていたが今は、幼児教育にお金をかけ将来に渡る学力をつけることが重要であり、しっかりした家庭で小

さいときから普通に学ぶ事が大切であると思います。

○古市委員

幼児教育というか子育て支援との連携が重要であると考えます。総合教育会議でも教育委員会と子育て支援課との連携が必要であると考えます。

○岩本委員

幼児期に良い投資をして学力を上げて行くことが経済的にも効果が大きいと言われており、特に貧困の家庭に多く投資をすると効果があるそうです。違う視点で、学校・家庭・地域の三者協働による学校づくりのお話がありましたが家庭にもそれぞれ事情がある場合もありますので地域住民でもっともっと連携して生涯学習として、子育てを支援していくことができるとと思います。地域では、子育ても終わった余裕のある世代も多くいるはずだと思います。

○春山委員

岩本委員のお話のとおりで子育てがひと段落した世代で何か支援したい、やりがい求めている人もおります。今回「学力アップ羽生塾」に退職した学校の先生を集めさせていただいたのですが短期間で快く協力いただける方が集まった。よって、今後こういった世代の方に子育て世代の支援に協力していただくことは可能であると思います。

○市長（議長）

お話を聞いていて、漠然と学力アップと言っているだけでも駄目で目的意識を持って集中的に光を当てて行く必要性を感じました。

○秋本教育長

秋田県とか福井県では、3世代の家庭が多くて、各家庭で当たり前に行うことが当たり前に出てくる。どういうことかと言うと家に帰ってしっかりと復習をすることが地域ぐるみで根付いているとの情報が入っている。羽生市では、今年から「学力アップ羽生塾」が開校され、本当にNPO法人団体さんでベテランの教師OBがマンツーマンに近い形で指導している。こういったことが広まって行くことが本当の意味で学力アップにつながっていくと思います。そして、習慣化することが非常に大事であると思います。家に帰ってしっかり机に向かって、30分でも教科書を開いて復習をすることを習慣化させることを小学生のうちから身につけるように校長先生にお願いしたところですが、これが広まって行って羽生の子どもは、諦めることなく、しっかりと解らないことは恥ずかしいことではなく、しっかりと家に帰って勉強したり、解らないことがあれば学校でも聞く。そういったことが身につくれば解らないことが解る喜びに繋がり、また、頑張ろうという気になると思います。一人ひとりにきめ細かい指導をして学力アップに繋げて行きたいと思っております。その良い切り口が「学力アップ羽生塾」と思っております。

○柿沼委員

蓮田の駅前に「学力向上のまち」といった感じの看板がある。また、白岡市は、東大通りといった通りがありまちづくりとして学力をテーマとしてやっている。地元にある大学や高校が地域の学力をリードするのではないかと思います。魅力ある学校づくりをして行かないと優秀な人材が集まって来ないと思います。将来的には、近隣の加須市では優秀な公立高校があり、また、最近私立でも2校あり、加須市だけ注目されることになってしまうので市として、まちづくりのビジョンとして、魅力ある羽生市を作るために地域の高校の魅力が一層高まる施策があればと感じます。

○市長（議長）

市内の定時制高校の校長先生がイギリスに留学した方なので是非、岩瀬小学校に生徒と一緒に来て、学校の子どもたちと触れ合って欲しいとお願いをしております。色々な方法で子どもたちに刺激を与えて行きたい。そのためには、市で大きな目標を持って行きたい。今まで市は、環境整備に力を入れて来て土台は出来てきたと思われる。よって、これからは、教育長の力強い言葉もありましたので市としても学力向上を全面に出して、出来るかなと思います。また、幼児教育から小中学校、高校まで一部だけではなく全体としてやって行かなくてはならないと考えます。

○秋本教育長

今年度より、川俣小学校でコミュニティースクールが始まりました。しっかりと検証をして他の小学校にも広めてまいります。

○市長（議長）

知事が学力の結果を公表するということがあり、私はそれに反対であった。理由は、みんな一生懸命にやっているし、色々な問題を抱えているところもある中で成績だけで劣っていると評価されるのはどうかと思っていた。しかし、本日の話の様に、集中的にあるいは目的を持って取り組んだ結果として、自然と学力アップに繋がることは、誰もが反対しないと思います。やり方次第、誰もが学力アップさせたいと思っているが競争させて学力を向上させることに不安があった。しかし、この場でこのような話で出来たことは、非常に有意義であると思います。

○秋本教育長

トップリーダーが学力を身につけさせることが子どもたちにとって夢の実現に繋がるんだと言うことで、教職員達もリーダーシップを持って引っ張っていく必要がある。今まで、なんとなく学力アップについては、タブー的なところも感じていたが、子どもが喜ぶのは出来ないよりは出来た方が良い、親も出来ないより出来た方が子どもを褒められる、ということで最終的には、信頼される学校づくりの一つの方法であると思っておりますので私としてもリーダーシップを発揮し、また、方策等も相談しながら進めてまいりたい。

○市長（議長）

場合によっては、NPO 法人の手を借りることも有効であると思う。教員もなかなか忙しい面もあるので体制作りも必要と考える。

○春山委員

NPO 法人でも何か出来そうであると思います。

○生涯学習部長

民間団体等でも学力アップに協力したいとの意見もある。

○岩本委員

全部を学校の先生に背負わせるのは無理があると思いますので、やはり色々とサポート出来る仕組みが必要であると思います。家庭の環境も随分変わってきているのでその辺の配慮も必要。また、未就学年代の学習も重要であると言われています。その時期でなくては出来ないこと、感じられないこともあり、それらを一生懸命にやるのが将来の役に立つ・繋がると言われている。昔からやっている年代にあった教育があって、それをきちんとやって行くことが重要であることを情報発信していく必要があると思います。

○秋本教育長

お話のとおり、幼児教育には、体験が大事だし、読み聞かせが大事だし、そういった親子の触れ合いがあって、最終的には心が豊かになって、将来的には学力の向上に繋がって行くと思います。

○古市委員

学習塾等では、脳科学的な知見も事業に取り入れている。学校でもそういった視点もこれからは必要だと思います。新しい、考え方を取り入れることも必要だと感じています。

○市長（議長）

本日は、今後子どもたちの学習能力の向上にいかに取り組んで行くか、みなさんで同じ方向であることを確認出来る良い機会になったと思います。

それでは、次の

2) その他について、何かありますでしょうか。

○事務局（企画課長）

本年度の今後の羽生市総合教育会議の開催等について申し上げます。

冒頭の市長のあいさつにもございましたとおり、この総合教育会議は、

1. 教育に関する施策の大綱に関すること
2. 教育を行うための諸条件の整備や、羽生市の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
3. 児童、生徒等の生命又は身体に被害が生じ、又は生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急措置などについて、協議、調整を行ってまいるのでご

ざいます。

そして、羽生市総合教育会議設置要綱第3条第2項において、教育委員会は、その権限に属する事務に関して協議する必要があると思料するときは、市長に対し、協議すべき具体的事項を示して、総合教育会議の招集を求めることができるとされておりますので、例えば、大綱の改訂、当初予算に計上していない急な教育施設等の大規模な改修整備あるいは、いじめ問題や通学路で交通死亡事故が発生した後の再発防止策等について、協議・調整が必要であるとの判断により、会議の招集をもとめられた場合に開催するものでありますので、現時点では、特に開催の予定はございませんが事案が生じた場合は、速やかに開催いたしますのでその際はよろしくお願いいたします。

○市長（議長）

他にご意見等ございませんでしょうか。

それでは、これで本会議の議長を解かせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

(閉 会)

○企画財務部長

ありがとうございました。これにて、本日の協議事項はすべて終了いたしました。

閉会にあたり秋本教育長より閉会のごあいさついただきたいと存じます。

教育長よろしく申し上げます。

○秋本教育長

本日は、教育委員会制度改革に位置付けられました総合教育会議を開催した訳ですが、この改正された趣旨は教育に関して、市長と教育委員が意思疎通を図りながら色々と意見交換を交わす。そして共に地域住民の期待に的確に応えて行くことだと理解しております。今日の成果については、グランドデザイン等審議いただいた上、で羽生市の子どもたちの確かな学力を身につけるためにはと云うことで貴重なご意見をいただき進められたことを大変ありがたく思います。これからもそれぞれの役割を果たしながら機会を見て意見交換をしながら羽生の子どもたちが更なる教育の充実を図れるようにご支援いただくことをお願い申し上げたいと思います。それでは、以上をもちまして平成28年度第1回総合教育会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

○企画財務部長

本日は、ご協力ありがとうございました。